

# ボランティアネットワークあさきた

発行・編集 広島市安佐北区社会福祉協議会・安佐北区ボランティアセンター  
〒731-0221 広島市安佐北区可部3丁目19-22 安佐北区総合福祉センター4階  
TEL 082-814-0811 FAX 082-814-1895  
E-mail kita@shakyohiroshima-city.or.jp

2025年3月  
133号

## みなさんの地域・学校・団体・企業で、「福祉の体験」してみませんか？

本会では、学校や地域団体・企業の“福祉の心を広げよう”という思いを応援するため、「福祉のこころ」を育む学習の機会を提供しています。

各団体がどんなことを学びたいのか思いを聞きながら、講師の調整・実施のサポートを行っています。講師によるお話や体験を通して、自分のこととしてとらえてもらうことで、思いやりの心を育むことが目的です。福祉を学び、体験・共感することから、周りの人のどのような心遣いがあれば誰もが暮らしやすいまちにできるのか、みんなで一緒に考える機会をつくってみませんか？

### 【プログラム例】

#### 車いす体験



狩留家地区社会福祉協議会  
×  
NPO法人みんなでスクラム生活支援センター

＼車いすを使っている人などに出かけられているのを知った。  
＼今回教わったことを、子どもたちへ伝えていく。

#### 盲導犬ユーザー



亀崎小学校3年生  
×  
盲導犬ユーザー清水和行さん

＼繰り返し練習することで、いろんなことができるようになることを知った。

#### 高齢者・児童の相互理解



日浦小学校6年生  
×  
あさひが丘地区サロン

＼話をしてくれたみなさん、とても優しくかった。  
＼まちで出会ったらあいさつする。

#### 親子ふれあい体験



広島中等教育学校4年生  
×  
すずらんひろば高陽

＼大変な中でも、楽しみながら子育てされていることを知った。  
＼子どもたちがとってもかわいかった。

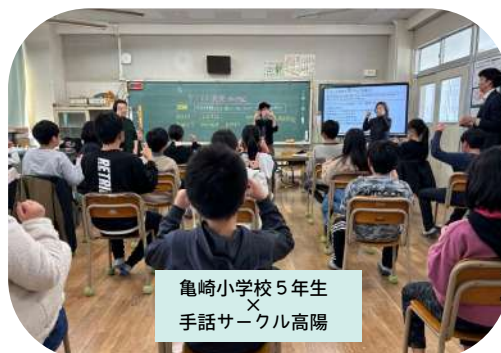
#### 高齢者疑似体験



日浦小学校5年生  
×  
社会福祉法人正仁会 なごみの郷

＼大変さが分かった。レジではゆっくり待とうと思う。

#### 手話体験



亀崎小学校5年生  
×  
手話サークル高陽

＼手話で会話できるのが楽しかった。  
＼家に帰ってから家族に覚えた手話を披露した。

### 福祉教育Q&A

詳しくはお気軽にお問い合わせください！！

Q. どんなテーマがあるの？

A. 車いすユーザー理解、視覚障害理解、聴覚障害理解、高齢者理解、子ども食堂、フードロス、親子ふれあい体験など、他にも様々です。

Q. 費用はどうしたらいいの？

A. 広島市社協が実施しているやさしさ発見プログラム事業の対象であれば、講師謝礼金、学習協力者の交通費は広島市社協が負担します。

Q. 安佐北区では、どのくらい実施されているの？

A. 令和6年度は小学校5校、中学校1校、高校2校、地域団体2団体実施されました。

# 安佐北区社会福祉協議会では、ボランティアに関する様々な事業を実施しています！

## ボランティアきっかけ講座



ボランティア活動に興味のある方を対象に、先輩ボランティアからのお話や、安佐北区ボランティアセンターで活動している団体の活動紹介・交流を行いました。

講座をきっかけに、実際にボランティアグループに加入された方、子育て支援のボランティアを始めた方もいます。



## あさきた元気フェスタでブース出展



安佐北区ボランティアグループ連絡会の活動を知ってもらうことを目的に、手話体験や点字名刺作り体験のブースを実施しました。

お子さんからご年配の方までたくさんの方が体験に参加してくれました。



## 視覚障害理解講座

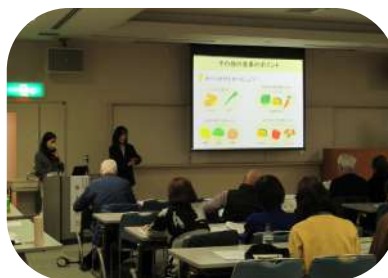


ボランティアグループ連絡会を対象に、視覚障害のある方の理解を目的とした講座を開催しました。理解するという事は、身近に感じること、コミュニケーションを取ることが大切だと教えていただきました。

盲導犬が安全にユーザーを誘導できるように、“やさしい無視”をお願いしたい。様子を見て大丈夫そうであれば優しく見守ってほしい、危険な場合はすぐに声をかけて止めてほしいということを伺いました。声をかける場合は、盲導犬ではなくユーザーへ。



## 安佐北区ボランティアステップアップ研修会



ボランティア活動をしている方やボランティアに興味がある方を対象に、食・睡眠・健康について安佐北区地域支えあい課の管理栄養士と保健師をお招きし、お話ししていただきました。

これからも皆さんに元気に活動していただきたいです！



## 安佐北区ボランティアグループ連絡会交流会



安佐北区ボランティアグループ連絡会 永年活動表彰



活動披露や情報交換の時間で盛り上がりました♪

## 募集中！

安佐北区ボランティアグループ連絡会とは、安佐北区ボランティアセンターに登録して活動しているグループの共同体です。

一緒に活動してくださる団体・個人を募集しています。



詳しくは、ボランティアグループ一覧をご覧ください！



## 開催案内

予約不要  
出入り自由

お茶と焼菓子を用意してお待ちしています



筆

談

力

フ

エ

聞こえる人も聞こえにくい人も、  
楽しくおしゃべりしませんか。

4/24 木 13:00~15:00

会場

安佐北区総合福祉センター 6階 大会議室  
広島市安佐北区可部3丁目19-22

参加費  
無料

ここでのコミュニケーションツールは“文字”  
筆談に興味のある方など  
どなたでもご参加ください。



次回の開催は・・・9月18日（木）13:00~15:00

お問い合わせは電話、FAX、メールにて

広島市安佐北区社会福祉協議会

協力：広島市要約筆記サークルおりづる安佐北支部

電話：082-814-0811 FAX：082-814-1895

メール：kita@shakyohiroshima-city.or.jp

# 「3月18日点字ブロックの日」啓発活動の紹介

## “点字ブロックの日を知っていますか？”

1967年3月18日に岡山市の交差点に世界で初めて点字ブロックが設置されたことがきっかけで、3月18日が点字ブロックの日として認定されました。  
この日、視覚障害者の当事者団体や協力団体が、啓発活動を行いました。

点字ブロックは、視覚障害のある方が安全に移動するための大切なツールです。  
点字ブロックには、前進のための「誘導ブロック」と、一時停止や方向転換などを知らせる「警告ブロック」の二種類があります。



誘導ブロック

細長い突起を並べた線状のブロック。道路や屋内の通路上に敷設し、視覚障害者を誘導します。



警告ブロック

丸い突起を並べた点状のブロック。道の分岐点やプラットホームの縁など何か変化があることを警告します。

カーブや曲がり角、横断歩道など、それぞれの場所に応じて適切に配置されていることで、安全に歩行することができるのです。  
そのため、点字ブロックの通路に自転車や障害物があったり、立ち止まっている人がいると、気がつかずぶつかってしまうなど、事故に繋がる恐れがあります。

点字ブロックの重要性をご理解いただき、正しく使えるよう配慮をお願いします。



視覚障害者の集い 歩みの会  
〇田地区社協・〇田地区民児協  
株式会社ロータスポンド  
のみなさん



視覚障害者のつとめ こすもす  
点字サークルてんとうむし  
音訳ボランティアあか音の会  
音声訳ボランティアグループみずきの会  
のみなさん

## お知らせ



安佐北区社協では、ボランティアグループや個人でボランティアをしたい方を募集しています。  
また、こんなボランティアを募集したいという方や団体もぜひご相談ください。

ボランティアグループや地域の福祉活動、施設のボランティアなどに繋いでいます。

ちなみに令和6年度のボランティア活動希望者の紹介先は・・・

- ・登下校の見守り
- ・子育て支援
- ・病院ボランティア
- ・手話サークル
- ・傾聴ボランティア
- ・高齢者施設の個人ボランティア（手芸）
- ・畑作業のボランティア
- ・児童発達支援センターの夏休みボランティア

最新情報は、安佐北区社協のInstagramをご覧ください！

